

積丹町 交通安全指導員出初式

交通安全功労者等へ表彰状伝達

2月17日に積丹町交通安全指導員会（川井順應会長）の出初式が2月17日、町総合文化センターで行われました。

午後2時30分に美国神社で今年一年の交通安全を祈願し、総合文化センターで行われた出初式では、川井会長の式辞に続き、

松井町長、畑田善博余市警察署長、福井貞吉町交通安全協会会長から激励と感謝のことがあり、川井会長から「私たち19名の町交通安全指導員は、今日からまた、心を新たにし、一丸となって地域に根差した活動を進めます。」と力強く交通安全宣言を読み上げ、

今年一年の交通安全事故防止への決意を新たにしました。



また、出初式に先立ち、長年

にわたり交通事故防止に貢献された交通安全功労者と優良運動者合わせて23人と6団体に表彰状が伝達されました。

受賞された方々は次のとおりです。

◆財全日本交通安全協会 緑十字銅章

【優良運動者】

山田 孝さん（神岬町）

【交通安全功労者】

播磨 昭彦さん（美国町）

◆北海道警察本部長・北海道交通安全協会会長連名表彰

【交通安全功労者】

本間 博之さん（美国町）

◆北海道交通安全協会会長表彰

【交通安全功労者】

的場 無縫さん（美国町）

羽根田公彦さん（入舸町）



【交通安全功労団体】

入舸婦人会

余別婦人会

美国宝寿会

入舸老人クラブ

◆北海道警察本部長・札幌方面交通安全協会会長連名表彰

【交通安全功労者】

福井 貞吉さん（美国町）

【優良運動者】

笹山 義治さん（美国町）

◆札幌方面交通安全協会会長表彰

【交通安全功労者】

大川 靖夫さん（日司町）

外崎 晃記さん（来岸町）

野宮 敏範さん（神岬町）

【交通安全功労団体】

積丹町立美国小学校

利用者の安全に役立てて

（株）中組^{（札幌）}が岬の湯しゃやごたんにAED寄贈

（株）中組（札幌市）は、1月25日に公共施設利用者の救命措置に役立てるため、町にAED（自動体外式除細動器）を寄贈しました。

平成21年10月に着工した一般国道229号積丹町余別トンネル工事の竣工に合わせ、

これまで作業所に設置していた岬の湯しゃやごたんで藤瀬慈浩現場代理人から松井町長へAED本体のほか交換用の電極パッドなど時価35万円相当が手渡されました。



この日、岬の湯しゃやごたんで藤瀬慈浩現場代理人から松井町長へAED本体のほか交換用の電極パッドなど時価35万円相当が手渡されました。



積丹町立日司小学校

【優良運動者】

杉山 賢さん（入舸町）

◆余市地区交通安全協会連合会 会長表彰

【交通安全功労者】

菊地 英徳さん（美国町）

船田 美子さん（美国町）

【優良運動者】

船田 美子さん（美国町）

村木 妙子さん（美国町）

近藤眞記子さん（美国町）

佐々木貴子さん（美国町）

馬場 晶子さん（美国町）

藤田 治美さん（野塚町字丸山）

白取まり子さん（美国町）

鎌田勢津子さん（美国町）

佐々木真一さん（美国町）

菊地 栄子さん（美国町）

佐藤 泰雄さん（野塚町）

統計グラフィックコンクール

佐藤 優花さん(日司小3年)特選
野塚・日司小学校が学校賞

北海道統計協会が主催し、毎年開催されている「統計グラフィックコンクール」で美国、日司、野塚小学校の児童8作品と一般から1作品が入賞、また、日司小学校と野塚小学校が学校賞を受賞し、2月7日に各小学校で表彰状の伝達式が行われました。

北海道内の小学生から一般まで259点が応募、町内では、3校から14作品、一般から1作品の合計15作品の応募がありました。なお、入賞作品については、次のとおりです。

▼第1部

入賞

伝達式では、川井順應町統計調査員協議会会長から表彰状と記念品がそれぞれ手渡されました。

昭和28年から実施され、統計

についての理解と表現技術の向上に役立てることを目的に今年で58回を数えるこのコンクール

佐藤はるかさん (野塚小1年)

高野 夏海さん (野塚小2年)

(合同作品)

三上 琴加さん (日司小2年)

佳作

西川亜依里さん (美国小1年)



▲日司小学校



▲野塚小学校

▼第2部

特選

佐藤 優花さん (日司小3年)

佳作

柏崎 未羽さん (日司小3年)

生駒 香織さん (野塚小3年)

▼第3部

入賞

西川亜紗加さん (美国小5年)

佳作

吉田 拓海くん (日司小6年)

▼第5部

入賞

西川 里佳さん (美国町)

▼学校賞

第1部 野塚小学校

第2部 日司小学校



▲美国小学校

幌武意太鼓育成会が

後志管内教育実践表彰受賞

地域と一体となった活動が評価

2月21日に後志管内教育の振興に特に実績が顕著なものを表彰する平成22年度後志管内教育実践表彰が、幌武意太鼓育成会(富士谷哲朗会長)に贈られました。

平成22年4月30日に幌武意小学校児童6人と地域住民の合計24人で結成された幌武意太鼓育成会は、現在は40人の会員が活動を続けています。

地域が一体となった活動は、平成22年3月に活動の拠点となっていた幌武意小学校が閉校した後も続けられ、現在も積丹ソラン味覚祭りや町総合文化祭に出演するなどの活動が行われています。

今回の受賞は、幌武意太鼓を地域芸能としての定着に向け取り組む姿勢が、文化意欲を高めるとともに、青少年の健全育成や郷土を愛する心の育成に大きく貢献しているとされたもので



▲後志教育局長から後志管内教育実践表彰を受ける富士谷会長(左から3人目)と会員(左2人)

す。

受賞を受けた富士谷会長は「幌武意地区がこれからも幌武意太鼓を通して、活気のある地域となりますように会員一同、精進する決意を新たにしています。」と抱負を述べられました。今後も活動を続けられ、いつまでも地域に親しまれることを期待しています。